

◆ 実戦問題 32 ◆ Exercice

〔仲忠は〕かく*遙かなるほどを*求めありくも苦しうおぼえて、〔1〕いかで、この山にさるべき所もがな。近くて養はむと思ひて、山深く入りて見れば、いみじういかめしき杉の木四つ、物を合せたるやうにて立てるが、大きな*屋のやうにあるを見て、この子の思ふやう。〔2〕ここにわが親を据ゑ奉りて、拾ひ出でむ木の実をも、まづ*参ら〔A〕と思ひて、寄りて見るに、いかめしき牝熊・牡熊、子を生み連れて住む*うつほなりけり。出で走りて、この子を食まむとする時に、この子のいはく。〔3〕しばし待ち給へ。〔4〕まろが命断ち給ふな。まろは孝の子なり。親*はらからもなく、*使ふ人もなくて、荒れたる家にただ一人〔4〕住みて、まろが参る物に*かかり給へる母を持ち奉れり。〔5〕*里にてはすべき方もなければ、かかる山の木の実、*葛の根を取りて親に参るなり。高き山、深き谷を下り登り、まかりありきて、朝にまかり出でて、暗うまかり帰るほどに、〔6〕うしろめたう、かなしく侍れば、かかる山の王住み給ふとも知らで、〔B〕。

● 関西学院大(文)
専修大(経営・文) 出題文

〔出典〕
『宇津保物語』〔俊蔭〕

『宇津保物語』は、平安前期の「作り物語」で、『竹取物語』の少しあとに成立した。源順ら複数の作者の手になるとされる。二十卷からなる長編で、琴の秘曲をテーマに話が展開する。「うつほ」は空洞の意味で、主人公仲忠が母と住んだ大杉の空洞に由来する。

*遙かなるほど＝遠くまで。
*求めありく＝探しまわる。
「ありく」は「歩く」で、他の動詞の連用形につくと「してまわる」という意味になる。
*いかめしき＝りっぱな。厳かな。恐ろしい。
*屋＝家。
*参ら＝「与ふ」の謙譲の動詞「参る」の未然形。〈差し上げる〉の意。以下の「参る」も

設問

問1

傍線(1)の現代語訳として最も適当なものを、次の中から一つ選べ。

- ① どうにかして、この山に母を住まわせるのにふさわしいところがあればなあ。
- ② どこかに、この山で母を住まわせるのに適当なところがあるだろうかなあ。
- ③ どうして、この山に母を住まわせるのに適したところがあるうか、いやない。
- ④ 何としても、この山で母を住まわせられるところを見つけないといけない。

問2

空欄Aにあてはまる語として最も適当なものを、次の中から一つ選べ。

- ① なむ ② かな ③ てしがな ④ かし ⑤ ばや

問3

傍線(2)(4)の主語を記せ。

問4

傍線(3)について、

(i) 現代語訳せよ。

問5

(ii) なぜこのように言ったのか。その理由を二十字以内で記せ。

問6

傍線(6)の現代語訳として最も適当なものを、次の中から一つ選べ。

- ① 母は、私をこの上なく大切に思い、かわいがっていますので、
- ② 母は、私に養われることを気がかりに思い、悲しんでいますので、
- ③ 私は、母を気がかりに思い、心が強く痛む感じがしますので、
- ④ 私は、母に苦勞をかけるのが辛く、悲しく思いますので、

問7

空欄Bに入る表現を考えて、現代語で記せ。

すべて同じ意味である。

*うつほ＝洞穴。ここでは、樹木の下にできた空洞をいう。

*まろ＝自称の人称代名詞。私。

*はらから＝兄弟姉妹。

*使ふ人＝使用人。

*かかり給へる＝頼っていらっしやる。

*里＝里。

*葛＝つる草の総称。

単語チェック

- ☑ ありく 動カ四
☑ いかで 副
☑ いかめし 形シク
☑ 据う 動ワ下二
☑ はらから 名
☑ うしろめたし 形ク